

膨大な情報量のストレージのリアルタイム・バックアップを Newtech Replication Suiteで実現

お客様について

お客様は、書籍・雑誌・コミックの印刷物制作会社です。

業界に先駆けての「コミックデジタル製版システム」の導入により、コンテンツの2次利用以降の作業効率を飛躍的に向上させています。

印刷メディアからクロスメディアまでのコンテンツ・ビジネスをサポートしています。

導入前の課題

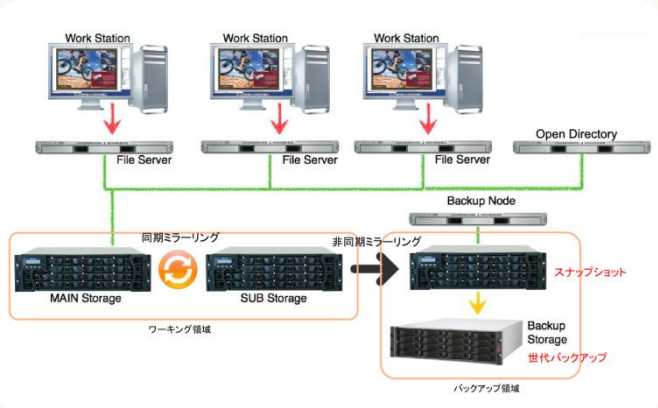
- バックアップ時間の短縮
- データの保全性の向上
- 24時間365日のサーバ運用

既存ストレージシステムのリプレースに当たり、効率向上と保存データの保全性の向上を目指しました。

大容量ストレージの選定では、二重化コントローラ、スナップショット等の機能を有していること、またワークステーションの95%がMacであることから、Mac OSに対応していることが前提でした。

導入のポイント

電子データ（デジタル情報）のファイルサーバ及びバックアップストレージシステムを右記の様に構築しました。



- Apple Xserve(Mac OS X Server 10.5)を5台導入。ユーザ認証用×1台、ファイル共有サービス用×3台、バックアップノード用×1台
- Xserveの起動ドライブにSSDを採用、データ領域にはHardware RAID5を構築し、速度と耐障害性を向上
- 各機器の電源モジュールを二重化し、耐障害性を向上
- XserveとNewtech Replication Suiteを4Gbpsのファイバーチャネルで接続
- トランキングでネットワークの速度と耐障害性を向上
- ユーザ認証にはOpen Directoryを採用し、ユーザ情報を一元管理
- Newtech Replication Suiteの同期ミラーリングと非同期ミラーリングの併用によりワーキング領域とバックアップ領域の分離を実現
- バックアップノードは、非同期ミラーリングで作成したスナップショットからNewtech Backup Acceleratorに世代バックアップを行う(平日は差分、週末はフル)

導入後の効果

従来、バックアップにテープ交換等の手間と膨大な時間（フルバックアップで最大40時間、差分バックアップで6時間）を必要としていました。

またバックアップ時にシステムが不安定になり、サーバ停止の必要があり通常業務への影響が問題となっていました。

本システムを導入したことにより、

- バックアップ処理自体が通常業務から分離され、24時間365日のサーバ運用が可能になりました。
- 分離によりバックアップ処理が完全に自動化し、バックアップ時間の短縮という課題を意識する必要がなくなりました。
- ミラーリングや世代バックアップが行えるようになり、データの保全性も向上しました。
- サポート体制はAppleCare（ハードウェア）のみでしたが、これにウチダエスコの運用サポートと株式会社ニューテックのストレージサポートが加わり、システム稼働率が向上しました。